令和３年度　山梨県立あけぼの支援学校

進路だより　ＮＯ．４

文責：大原

令和３年１２月１日発行　あけぼの支援学校進路指導係
http://www.akebonoy.kai.ed.jp

頬にあたる冷たい風に本格的な冬の訪れを感じる季節となりました。

さて、高等部では１１月に２週間に渡って現場実習を実施いたしました。高等部３年生にとっては最後の実習となり、卒業後の生活に向けて事業所と打ち合わせをしたり、生活面についての確認をしたりするなど、卒業後の生活を具体的にイメージする貴重な機会となりました。また１・２年生にとっても、卒業後のよりよい生活を具体的に考えるために必要な体験であると同時に、自分自身に向き合うことのできる貴重な機会となりました。自分の得意なことを活かすための仕事はどのような内容であるのか、また夢を実現するためには今何をしたらよいのかなど、学校以外の場所で過ごすことで気づくことがたくさんあったかと思います。

今回は、現場実習での生徒の頑張りを中心にお伝えいたします。

大村記念図書館

私は今回、韮崎市大村記念図書館へ実習に行ってきました。バックヤードでの返却された本の消毒、本の配架など様々な作業を行いました。新刊受け入れの作業が一番やりがいを感じました。実習に行った６日間の中で祝日や休日の出勤が何日かありました。曜日による人の流れの違いを感じることができ、とても勉強になりました。実習で学習したことを将来に生かせるように頑張りたいと思います。

ＳＡＫＵＲＡ山梨センター

すみよし障がい者支援センター

第Ⅱ期は、ＳＡＫＵＲＡ山梨センターと、すみよし障がい者就業・生活支援センターに実習に行きました。頑張ったことは「報連相」とメモを取ること、作業を正確にすることです。難しかったことは、ＷｏｒｄやＥｘｃｅｌの使い方と、製品の数が合っているかの確認です。今回の実習でメモを取った後、内容を確認しなければならないことを学びました。このことを、これから学校生活で生かしていきたいです。

富士川町社会福祉協議会

富士川町社会福祉協議会では、業務に関する資料をワードやエクセルで入力、作成する作業や、テプラを使って、封筒にラベルを貼る作業を行いました。自分から質問、報告をすることや、自分自身のことも伝えることができました。実習を通して、どの職場も自分が課題とするコミュニケーションが必要であると実感しました。今後、コミュニケーション力を向上させるために語彙を増やし、自分から積極的に声をかけたいです。

富士川町社会福祉協議会

ジット会たいよう

　僕は、富士川町社会福祉協議会とジット会たいようへ実習に行きました。富士川町社会福祉協議会では、パソコン作業やネームシール貼りの作業をしました。ジット会たいようでは、インクカートリッジの分別作業をしました。
　この実習で、自分からコミュニケーションをとることが大切だということを学びました。

みどりの家

おひさま

　今回、初めての現場実習へ２カ所、２日ずつ行きました。「みどりの家」では、リサイクル作業でペットボトルのラベルはがし、レクリエーションや散策、DVD鑑賞などをしました。「おひさま」では、創作活動、入浴体験や販売のクッキーの生地作り、音楽活動やリレーを楽しみました。目標としていた、コミュニケーションを自分からとることができ、充実した実習となりました。

おひさま

　Ⅰ期に続いての実習でしたが、活動への見通しをもって、生活することができました。他の利用者の方とのコミュニケーションについても、積極的に話しかける中、前回よりも適切な距離で接することができました。クッキーづくりでは、多くの工程を経験し、楽しみながら取り組むことができました。支援員さんに手伝ってもらいながら、卵を割ることや生地をかき混ぜることなど、集中して取り組むことができました。５日間のうち２日間は付き添いなしでの実習でしたが、問題なくおひさまに馴染んで、卒業後に向けて大きな成果と評価を得ることができました。

おひさま

みどりの家

　「おひさま」に2日間、「みどりの家」に2日間、計4日間現場実習に行きました。はじめての現場実習で、とても緊張していましたが、知っているスタッフさんがいたことで、ほっと一安心。どの活動にも意欲的に参加することができました。「おひさま」では、クッキー作りの仕事を体験しました。型抜きや袋づめは自分でやり方を工夫して行うことができました。「みどりの家」では、利用者さんと一緒に足湯をしたり、音楽鑑賞をしたりと、とてもリラックスして過ごすことができました。

おひさま

みどりの家

初めての現場実習で、「おひさま」と「みどりの家」に2日間ずつ行ってきました。実習前から緊張した様子でしたが、実際に行ってみると、朝礼で日直に立候補したり、やりたい活動を職員さんに伝えたりして積極的にどの活動にも参加することができました。「おひさま」でのクッキーの生地づくりでは、すべての工程を経験することができました。「みどりの家」ではリサイクル活動に取り組み、もくもくとペットボトルのフィルムはがしをする姿が印象的でした。

コスモス通所

コスモスに５日間実習に行きました。第Ⅰ期にも実習に行っていたので、緊張した表情だったのは初日の朝だけで、すぐに環境に慣れることができました。職員の方に挨拶されると笑顔で応えたり、積極的に左手を動かしてゲームに参加したりする様子が見られました。今回は最後の実習ということで、卒業後の生活を見越して職員の方と一緒に活動する時間を増やしたり、昼食を一緒に摂ったりする場面もありましたが、関わりを素直に受け入れて落ち着いて活動することができました。また入浴体験では、周りの様子をキョロキョロと伺いながらも、気持ちよくリラックスして湯舟に浸かることができました。

コスモス通所

おひさま

コスモスに３日間、おひさまに２日間の計５日間実習に行きました。コスモスでは、釣りゲームやトントン相撲などのレクリエーション活動や音楽療法などの活動に参加しました。おひさまでは、日めくりカレンダー作りや野球ゲーム、リレーなどの活動に参加しました。自らの道具や職員の方に手を伸ばしたり、利用者の方と一緒に活動を楽しむ姿が見られたりして、落ち着いて活動に参加することができました。

おひさま

コスモス通所

おひさまとコスモスに実習に行きました。おひさまでは、カードゲームにカラオケ、クッキー作りに参加しました。カードゲームでは、運の強さを発揮して坊主めくり、神経衰弱で1位になりました。拓馬さんは、カードゲームよりクッキー作りを楽しんだようです。

コスモスでは、初めての場所で緊張していましたが、棒倒しと絵合わせの活動に参加できました。絵合わせでは、全身の反動を使いながら腕で手元のボールを転がして絵カードを選択することができました。緊張しながらも少しずつ自分らしさを出せるようになりました。

コスモス通所

ひだまり

初めての現場実習として、コスモスとひだまりに一日ずつ行きました。コスモスでは、午前はカラオケに参加し、「勇気１００％」をリクエストしました。午後は、物当てゲームに参加し、コスモスの職員の方と一緒に、箱の中に手を入れて、中に入っているものを触ったり握ったりしました。ひだまりでは、朝の会で自己紹介をしました。右手をいっぱい振ってアピールしました。午後は暗くした部屋の中、ランタンの光の中でリラックスタイム、アロマオイルでマッサージをしました。あまりに気持ちよくて、ランタンが灯される前にぐっすり眠ってしまいました。皆が帰りの支度の頃にすっきり目覚めました。すると、ひだまりの職員の方々がせっかくだからと、周りにランタンを並べてもう一回灯してくれました。ランタンの光をじっと見入っていました。

みどりの家

「みどりの家」では、１日目の朝はとても緊張していたようで、手足をしきりに動かしたり、表情を硬くしたりする様子が見られました。職員さんの関わりを受けているうちに次第に落ち着いてきたようで、穏やかな表情で手元を見つめながら貼り絵の活動に取り組むことができました。１日目を終え、母親の車に向かう時には、安心と達成感を感じたようで、笑顔を見せていました。２日目の実習でも利用者さんや職員さんの輪の中に入り、和気あいあいとした雰囲気を感じながら職員さんと一緒に活動に取り組み、満足そうな表情を浮かべていました。初めての現場実習でしたが、施設の環境を意識しながら過ごすことができ、達成感が感じられる体験をすることができました。

みだい寮

コスモス通所

みだい寮とコスモスで１日ずつ実習を行いました。はじめは緊張して表情が硬かったですが、どちらの事業所でも職員の方が優しく話しかけてくれたのをきっかけに、少しずつ笑顔が増え、お昼には自分からコミュニケーションをとっていました。みだい寮ではナゲットソースのフィルムはがしを丁寧に取り組みました。コスモスでは、オーバルボールのゲームや絵を描く活動を利用者の方と楽しみました。

ともろうらんど

ひだまり

「ともろうらんど」では、散策や料理活動に参加しました。調理活動では、人参や玉ねぎの皮むきに挑戦しました。指先にグッと力を入れてピーラーを握ったり、玉ねぎの皮を引っ張ったりすることができました。また、利用者の方やスタッフの方との心温まる交流がとても楽しくて、笑顔いっぱいでした。「ひだまり」では、集団活動のボウリングに参加しました。たくさんの応援の中、左手をたくさん動かしてボールを転がすことができました。ピンが倒れると声を上げて喜びを全身で表現していました。初めての現場実習はとても緊張した様子でしたが、それでも活動に気持ちを向けて取り組むことができ、とても素晴らしかったです。いろいろな体験ができた有意義な実習でした。

現場実習報告会

１１月１９日（金）に現場実習報告会を実施しました。感染症対策のため各教室からのリモートによる報告となりましたが、個々の実習の様子や反省、これからの課題を知ることのできるよい機会となりました。写真を提示しながら、自分の経験したことや今後の課題を発表する生徒の姿は、実習前よりも一回り成長して見えました。実習で感じたこと、そこから学んだことを今後の学校生活の中でぜひ活かしていってほしいと思います。

第３回進路対策委員会　福祉事業所見学

１１月１８日（木）に福祉事業所見学を実施いたしました。見学先は、生活介護事業所「Ｗａｉ　Ｗａｉ」でした。６名の保護者が参加され、施設内を見学しながら、サービス内容について説明を受けました。「Ｗａｉ　Ｗａｉ」は、令和３年６月に開所されたばかりの福祉事業所です。対象地区は北杜市、韮崎市、南アルプス市、甲斐市で、来年度から放課後デイサービスの開始も予定しています。実際に見学することで、卒業後の生活のイメージを膨らませたり、選択肢の一つとして考えたりすることができます。昨今、近隣の福祉事業所は定員に達しているところも増えています。ぜひこのような機会を活用して、卒業後のよりよい生活を具体的に考えるきっかけとしていただきたいと考えています。今後も保護者の皆様のご参加をよろしくお願いいたします。

知っておこう！進路ワード

１８歳以降は制度が変わるため、サービスを受けるために必要な手続きがいくつかあります。確認しておきましょう。また、車椅子や装具の申請・製作は１８歳未満の方が申請や審査が簡易なので、学校在学中に行うことをおすすめいたします。

１８歳になる時に				
必要な手続き	概要	手続きの時期	問い合わせ先	備考
福祉サービスの受給者証	１８歳の誕生日の月末までは、障害児のサービスの受給資格者証ですが、翌月から、障害者のサービスの受給資格者証となります。	誕生日の２か月程度前から（サービスの更新案内が来ます）	市障害者福祉係	放課後等デイサービスについては、高校卒業まで引き続き利用できます。
区分認定の調査	障害者のサービスの受給資格者証の交付を受けるにあたり、区分認定の調査が必要です。学校を経由して手続きを行うか、相談支援事業所の相談員の方に早めにご相談ください。	誕生月の３か月程度前から	市障害者福祉係	

参考までに・・・

２０歳以降は障害者年金が支給されるので、そのための手続きが必要です。

２０歳になる時に				
必要な手続き	概要	手続きの時期	問い合わせ先	備考
障害年金の手続き	手続きには診断書等必要な書類があります。	誕生月の３か月程度前から	市国民年金係	
特別障害者手当の手続き	障害者福祉手当は、お子様が２０歳を迎える前日で喪失します。特別障害者手当の手続きができますが、診断書等が必要となります。	誕生月の３か月程度前から	市障害者福祉係	障害児福祉手当と要件が異なります。必ず受給できるものではありません。
有料道路の割引制度	ＥＴＣにより有料道路の割引制度を利用されている場合、お子様（障害者本人）の名義のＥＴＣカードに変更が必要です。	誕生月の２か月前から	市障害者福祉係	